

正誤表

「新臨床腫瘍学（第 7 版 第 1 刷）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
227	本文 2～7 行目	また、PD-1 と PD-L1 の結合を遮断する薬剤としては、抗 PD-1 抗体薬であるニボルマブ (nivolumab) とペムブロリズマブ (pembrolizumab)、抗 PD-L1 抗体薬であるアテゾリズマブ (atezolizumab)、デュルバルマブ (durvalumab)、アベルマブ (avelumab)、セミプリマブ (cemiplimab) がある。	また、PD-1 と PD-L1 の結合を遮断する薬剤としては、抗 PD-1 抗体薬であるニボルマブ (nivolumab)、ペムブロリズマブ (pembrolizumab)、 セミプリマブ (cemiplimab) 、抗 PD-L1 抗体薬であるアテゾリズマブ (atezolizumab)、デュルバルマブ (durvalumab)、アベルマブ (avelumab) がある。
308	表 1	カボサンチニブ	カボ ザ ンチニブ
356	f. セミプリマブ (cemiplimab) の本文 1 行目	セミプリマブは、分子量約 147,000 のヒト PD-L1 に対する遺伝子組換えヒト IgG4 モノクローナル抗体である。	セミプリマブは、分子量約 147,000 のヒト PD-1 に対する遺伝子組換えヒト IgG4 モノクローナル抗体である。
739	表 1	テムスロリムス	テム シ ロリムス
766	パゾパニブ	302, 469	308 , 469

2025 年 11 月 6 日
株式会社南江堂